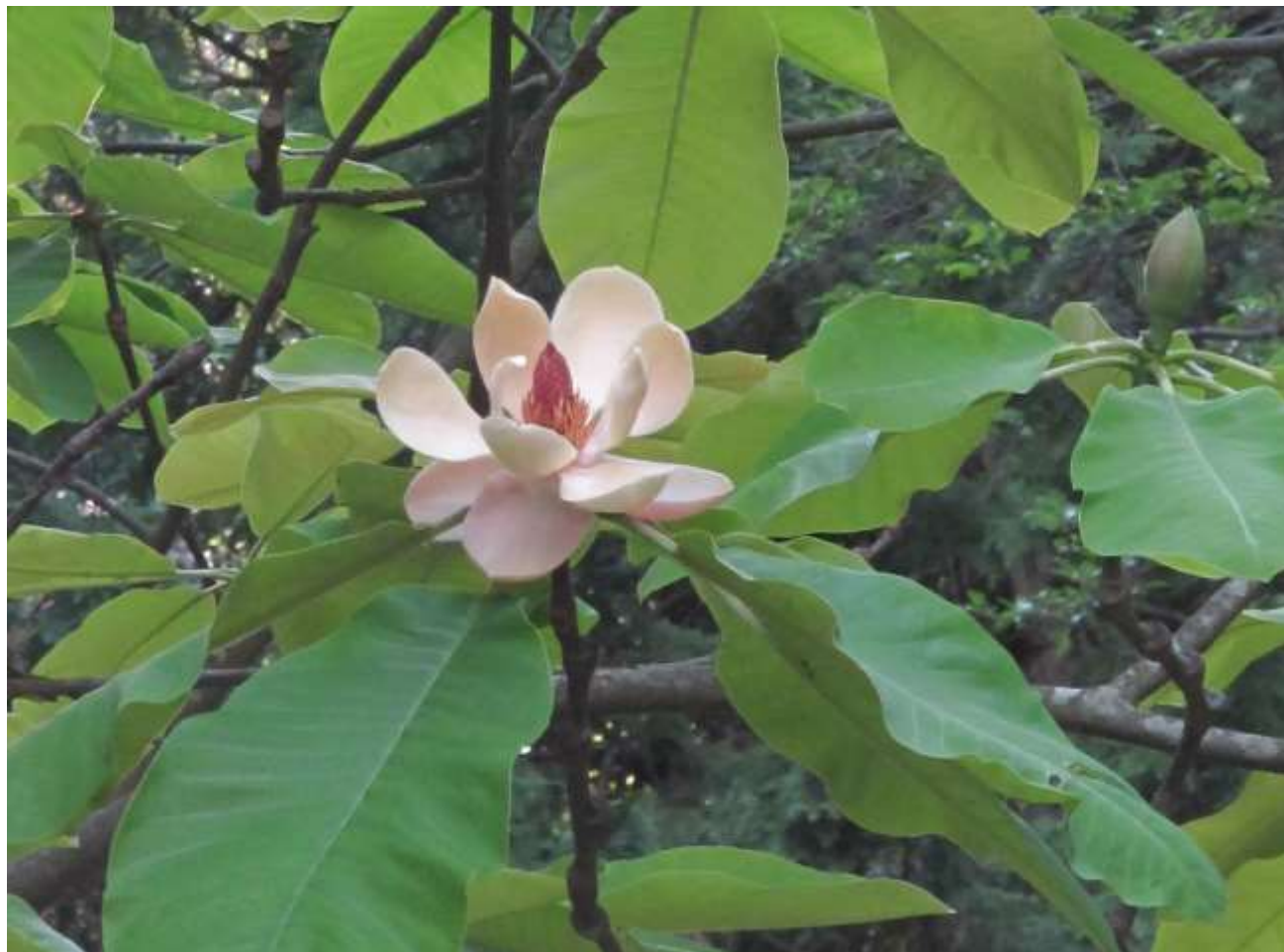


緑化だより

No.94 平成26年5月号



ホオノキ

- 緑化センターの希少な樹木(2)
- 野鳥の世界(アオゲラ)
- 植物 Q&A
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



緑化センターの希少な樹木

No.2 チドリノキとメグスリノキ

カエデ属らしくないカエデを2種紹介します。

葉が掌状（指を開いた手のひらの形）になっていないので、種子が付いていないとカエデ属であることがわかりにくいのです。

チドリノキの花は5月頃開花しますが目立ちません。花は糸のように細い柄にぶら下がります（写真）。葉はクマシデやサワシバに似ています。チドリノキの名は、果実が千鳥の飛ぶ姿に似ていることからつけられました。苗畑内のカシワのそばに1本植栽されています。

メグスリノキの名は、民間薬として洗眼に用いられることに由来します。花はチドリノキと同様目立ちません。5月頃開花します。葉は三出複葉で、葉柄は太く短く、剛毛が多いことが特徴で見分けやすいです。でも何といたってもメグスリノキの特徴は紅葉の美しさにあります。サーモンピンク色の紅葉は他のカエデ類にはない色合いです。紅黄葉樹見本園に2本植栽されています。（川上）



チドリノキ



メグスリノキ

野鳥の世界

アオゲラ

キツツキの仲間は冬期でもよく鳴き交わし里山～県境の深山まで広く分布し活動します。緑化センターでもオオアカゲラ、コゲラ、アオゲラ、が留鳥として、確認されています。

なかでもアオゲラは、日本固有で、本州、四国、九州で繁殖します。

アオゲラの鳴き声は「キョウー・キョウ」と遠くまでよく響くため、姿は見えなくても存在を感じることが出来ます。春から夏にかけて枯木を打って

音を響かせ交信もしているようです。センター内では、ヤマガラ、シジュウカラのために巣箱をセットしていますが、それを利用して音を響かせているのが観察されています。

オオアカゲラ、アカゲラ、コゲラは枯木を利用しますが、アオゲラは生きた樹木を利用することが多いようです。これは抱卵中に樹木の持つ湿度が必要なのではないかと考えられます。又、アリや小虫を好むためか巣穴の位置も4～6mと低く、冬期、生きた餌が少ない時期は木の実を採食している姿が見られています。センターでは、ピラカンサ、



アオゲラ

タマミズキ、ヌルデなどの実がある時期は食べる姿が観察でき、貴重なシャッターチャンスになります。(吉見)

植物 Q&A

Q)花が咲かない、花付が悪いなどのご質問をよく頂きます。

A) 原因は、①土壌条件②日照条件③水分条件④肥料⑤剪定⑥病虫害⑦樹勢等が複合的にからみあった結果です。

① 土壌条件は、最も大切なところで、植え込み時に十分対策を講じておく必要があります。高木であれば1m以上の深さを柔らかくします。可能ならば2m程度は掘削し、腐葉土などの土壌改良材を十分すきこみます。幅もできれば片側2m程度を柔らかくします。中木では1m程度、低木でも70cmは確保したいものです。切土造成地では、岩盤が固くて根が伸びずやがて枯死する例が見られます。

② 好む日照条件は植物種によって異なります。栽培書などに陰樹とあるものも「日陰でも耐える」という意味で、基本的にはどの植物も日光を欲しがることには変わりありません。

③ 水分は適湿が最高で、最近はやりのハナミズキやヤマボウシなどは乾燥地には適しません。かといって水浸しの場所でも育ちません。ヒマラヤスギ(マツ科)は水が多いと駄目、アケボノスギは水浸しでもOKなど、樹種により異なりますので、よく調べて対応してください。

④ 肥料は基本的に植栽時の基肥、花後のお礼肥、秋口から冬季にかけて与える寒肥に分けます。肥料の3大要素窒素、リン酸、カリを含んだ肥料を使用します。一般に基肥と寒肥は有機質肥料、お礼肥は速効性の化成肥料を用います。

⑤ 剪定は大切な作業です。まず枯れ枝は付け根から切り取ります。不要な枝を除くことにより、病虫害の発生を抑えます。注意するのは、花芽形成の時期と花芽のつく位置が樹種により異なることです。頂芽(枝の先端に花芽)タイプは剪定時期を誤ると翌年の花芽がなくなることがあります。

⑥ 病虫害は山林に近い所では大量発生しにくいのですが、都市部ではよくあります。特に、新芽が出る頃や花芽がふくらむ頃、ハダニやアブラムシが発生し芽を痛めて花が咲かないことがあります。

⑦ 樹勢は総合的に樹木を元気に育てているかどうかにかかっています。

その他、花を咲かせるための条件・対策が異なりますので、ご質問の場合は、植栽時期、植栽場所、植栽後の管理等をチェックしてご連絡下さるようお願いいたします。(正本)



有機質肥料の一例



化成肥料の一例

研修会のご案内

- 5月2日(金) 『5月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
新緑の樹木と草花を観察しよう 講師：森林インストラクター 駄賀 恒男
- 5月10日(土) 『アロマを使って森林浴』 10:00～12:00 学習室 集合
紙粘土で作る香り玉、カラフルな色と香りで 講師：オリエンタルアロマセラピー協会
※ 要予約・材料費1,000円、先着20名 認定講師 新酒 治代
- 5月11日(日) 『春のバードウォッチング』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
夏鳥たちの繁殖の様子を観察しよう 講師：日本鳥類保護連盟会員 吉見 良一
※ 双眼鏡持参
- 5月15日(木) 『緑のカーテン教室』 10:00～12:00 学習室 集合
緑のカーテンでちょっとエコで
おしゃれな暮らしを 講師：環境カウンセラー 正本 大
※ 要予約・無料
- 5月18日(日) 『サギソウのコケ玉植え』 10:00～12:00 学習室 集合
サギソウまとめて10球植え！ 講師：森林インストラクター 長井 稔
※ 要予約・材料費1,500円、先着30名
- 5月21日(水) 『コケの観察会』 10:00～12:00 学習室 集合
コケの生態について学びます 講師：広島大学名誉教授 関 太郎
※ ルーペ持参
- 5月24日(土) 『新緑の三本木山を歩こう』 10:00～12:00 管理事務所前 集合
自然を観察しながら
標高486mの山に登ります 講師：植物研究家 清藤 徹
※ 要予約・弁当持参
- 5月25日(日) 『庭木の病虫害教室』 10:00～12:00 学習室 集合
薬剤だけでなく防除について 講師：緑化センター職員 正本 良忠
- 5月30日(金) 『新緑の自然観察会』 13:00～15:00 管理事務所前 集合
※ 要予約・友の会会員対象
(当日入会可) 講師：環境省希少野生動植物
種保存推進員 吉野 由紀夫

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

春のおでかけキャンペーン

(広島市森林公園と共催)

～5月25日(日)

第13回ひろしま『山の日』県民の集い

6月1日(日) 10:00～15:00

レストハウス周辺及び園内でイベント色々！

◎ 展示会のお知らせ

展示場所:レストハウス

ビーズクラブ「ダリア」作品展

4月18日(日)～5月28日(水)

春～夏のキノコ写真展

5月2日(金)～6月11日(水)



ビーズクラブ「ダリア」作品展より

表紙：モクレン科の落葉高木
飛騨高山などでは葉を利用しての朴葉
味噌焼きが有名。材は彫刻板、まな板、
刀の鞘、下駄の脚などに使用される。